

前田ビル

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

小売業者のハローフーズと会田喜一(寿司・総菜)の営業時間を24時間とする。これに伴い、駐車場利用時間帯も24時間とする。(法附則第5条第1項)

届出事項

1	届出年月日		平成17年2月24日		
2	店舗名称		前田ビル		
	店舗所在地		知多郡東浦町大字生路字池下61-9ほか2筆		
3	変更をする日		平成17年4月4日		
4	届出事項	変更前	変更後		
(1)	設置者	名称	前田織布合資会社	変更前に同じ	
		代表者	無限責任社員 長坂 寿美		
		住所	知多郡東浦町大字生路字前田20		
		備考	なし		
	小売業者	名称	ハローフーズ株式会社		変更前に同じ
		代表者	代表取締役 石田 茂之		同
		住所	名古屋市緑区浦里3-1		同
		備考	3名		同
(2)	店舗面積	1,662 m ²	同		
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり	同	
		台数	104 台	同	
	駐輪	位置	別紙図面のとおり	同	
		台数	30 台	同	
	荷捌	位置	別紙図面のとおり	同	
		面積	148m ²	同	
	廃棄	位置	別紙図面のとおり	同	
		容量	63.7 m ³	同	
(4)	営業	開店時間	午前9時	24時間営業(一部午前9時)	
		閉店時間	午後8時	24時間営業(一部午後8時)	
	駐車場利用時間帯	午前8時30分から午後8時30分まで	24時間		
	駐車場	出入口数	2箇所	変更前に同じ	
		出入口位置	別紙図面のとおり	同	
	荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで	同		
業態	食料品専門店				
用途地域	準工業地域				
参考	平成6年10月開店				

前田ビル

I 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	148㎡	なし	20分	2台	5台	

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00~10:00	7台	17:00~18:00	12:00~13:00	無し	必要なし	

② 経路の設定等

(1) 車両関係

イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
無し	—	—

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	10 m	無	自動車走行	0 m	無	夜間駐車場利用制限
西方向	30 m	30 m	自動車走行・室外機	0 m	無	特になし
南方向	無	無	室外機	0 m	無	特になし
北方向	無	無	自動車走行	0 m	無	特になし

遮音壁の悪影響	なし
---------	----

評価

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばき作業スペースを十分確保し作業時間を短縮、防音シートの設置
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、夜間・早朝の作業の禁止、作業人員への騒音防止意識の徹底
荷捌施設機器選択面での配慮	特になし
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	建物屋上の住居から離れた位置に配置
給排気口からの騒音配慮	特になし
駐車場からの騒音配慮	夜間利用制限
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	夜間・早朝の作業の禁止

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	0	空調室外機	6	給排気口	15	変電施設		浄化槽		ポンプ		エンジン等	
		冷凍室外機	3	冷凍機械室		キュービクル	1								
変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス		台車走行	○							
	自動車走行	○	荷捌アイドリング		後進警報ブザー	○									
衝撃騒音	荷降し音		台車走行												
建物の構造(高さ)		鉄骨造 8階建〔高さ24.7m〕													

前田ビル

ア 等価騒音レベル予測

		北(A1.2m)	西(B1.2m)	東(C-0.8m)
用途地域		準工業地域	準工業地域	準工業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	45.5 dB	45.8 dB	47.3 dB
	評価	○	○	○
設置者	夜間等価騒音レベル	36.7 dB	38.4 dB	35.7 dB
	評価	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当

イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工業系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無	無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か	
上記A・Bの具体的内容	

		北(a1.2m)	東(b1.2m)	南(c-0.8m)
用途地域		準工業地域	準工業地域	準工業地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし
基準値		50dB	50dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	33.5dB	38.1dB	35.1dB
	評価	○	○	○
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	56.2dB	41.9dB	40.7dB
	評価	△	○	○
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当

※A地点において実測したところ、測定結果の等価騒音レベルは平均64.7dB(2:00~3:00)となり、予測結果の最大値(56.2dB)を上回っているため、当該店舗が与える影響はほとんどないと考えられる。

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	生ゴミ保管用に冷蔵設備あり
衛生問題関係配慮	特になし

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	27.00 m ³	1日	0.53 t	0.10 t/m ³	5.32 m ³	変更なし	
空缶・空き瓶	6.70 m ³	1日	0.06 t	0.10 t/m ³	0.61 m ³	変更なし	
厨芥・その他	30.00 m ³	1日	0.47 t	0.15 t/m ³	3.10 m ³	変更なし	
合計	63.7 m ³	-	-	-	9.04 m ³	-	
保管日数の設定根拠	当店舗の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	有
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	有
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

前田ビル

位置・構造	適正な分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間・早朝の作業の禁止
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	有
	生ゴミ保管施設の気密性の確保	有

十分な搬送頻度の確保	1日1回の搬出
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	(有)西山商店(東浦町第1-2号)
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	特になし

評価

市町村の意見概要	対応
土・日曜日及び雨天時に駐車場出入が混雑して国道366号が渋滞するため、ガードマン等誘導員の配置を検討されたい。	状況を確認し、休日・特売日等の混雑時間帯において、必要に応じて交通整理員を配置します。
騒音等公害が発生した場合は責任をもって処理する旨の誓約書を提出してほしい。	周辺住民から苦情があった場合には、誠意を持って対応する旨の誓約書を提出。
事業ごみの中の資源ごみについて適切に処理すること。	段ボール等紙類・ペットボトル・缶については、100%資源化しており、その他可燃ごみについても可能な限り資源化を図っている。引き続き、廃棄物の資源化に努めます。

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見案
意見なし